

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 19 日 作成

事務事業名		浄化センター下水道事業団委託事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課	担当者名	村上 浩昭
	基本事業	28	水質の浄化		所属班	管理工務班	(内線)	1176
					法令根拠	下水道法		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6
		50	2	1	4			コスト削減優先度評価結果	

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (18 ~ 27 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
浄化センター改築の設計及び工事を日本下水道事業団へ委託する事業

【業務の流れ】
下水道事業団の委託要請から協定の締結、現場打合せを含む改築更新の円滑な遂行

【主な予算費目】下水道事業費 委託料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	・須屋浄化センター(土木建築、機械設備、電気設備)改築工事	
H20年度なし	・塩浸川浄化センター(土木建築、機械設備、電気設備工事)改築工事	
	・須屋、塩浸川浄化センター再構築詳細設計委託業務	
	・塩浸川浄化センター増設詳細設計委託業務	
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
	ア 設計・工事の委託金額	千円
	イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
	ア 浄化センターの箇所数	箇所
	イ 汚水中継ポンプ場の箇所数	箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
	ア 処理能力を維持し、停止することなく運転できた年間の割合	%
	イ	
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
	ア 市内河川のBOD(測定地点)基準達成率	%
	イ	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 18 ~ 27 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	57,530	146,170		186,845	181,060	170,800	総 ト ー タ ル コ ス ト	1,705,750
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	42,360	110,900		135,400	133,300	153,700		
		その他	千円	4,710	7,800		16,355	14,840	17,100		
		繰入金	千円								
	一般財源	千円		4,530							
	(A) 事業費計	千円	104,600	269,400	0	338,600	329,200	341,600			
	うち指定経費	千円	▲ 104,600	▲ 229,400							
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	4	7		7	7	7		
	延べ業務時間	時間	1,200	2,100		2,100	2,100	2,100	21,900		
	(B)人件費計	千円	4,764	8,358	0	8,358	8,358	8,358	87,162		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	109,364	277,758	0	346,958	337,558	349,958	3,192,162		

活動指標	千円	104,600	269,400		338,600	329,200	341,600	目 標 合 計 値 画 22 年 度
対象指標	箇所	1	2		2	2	2	
	箇所	0	2		0	0	0	
成果指標	%	100	100		100	100	100	
上位成果指標	%	100	100		100	100	100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
◎須屋浄化センターについては、昭和56年に供用開始されたことにより、各施設が耐用年数の経過と共に所々で老朽化及び機能低下が見られるようになり、その問題点を改善・解消するため、平成18年に改築更新を下水道事業団に委託した。また、塩浸川浄化センターについては、平成4年に供用開始になり、耐用年

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
◎開始前に比べると更新された施設については、機能低下等の問題点が解消され、支障なく円滑な維持管理が出来るようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
◎特になし

事務事業名	浄化センター下水道事業団委託事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ◎施設を新しくすることにより、汚水処理が円滑に行われ、市民の生活環境が保全され、又放流水質が安定するので結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ◎施設を改築更新し汚水処理を円滑に行うことにより、市民の生活環境の保全及び公共水域の水質保全につながり、その応分の使用料も賦課されているので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ◎対象は、機能低下した施設及び耐用年数が経過した施設であり、意図もこの汚水処理施設を新しくするのであるので適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ◎汚水処理施設を新しくすることにより、その施設が停止することなく、汚水処理が円滑に出来る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ◎本事業を廃止すれば、この汚水処理施設は老朽化し汚水処理が円滑に出来ないため、事業の廃止は考えられない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ◎下水道施設は大規模な施設が多く、専門的なものになるため、その知識や技術が豊富な下水道事業団にすべて委託している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ◎同上
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ◎受益者より使用料を応分負担して頂いているので、適切である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 効率的に計画的な改築更新を実施する必要がある。
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	↷

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 改築事業を進めて行くには、専門的な知識を必要とし、建設も多額の費用がかかるため、委託業務により進めている。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 改築工事を実施するには多額の費用を要するが、施設が存在し円滑な維持管理を行うためには必要不可欠なものであるため、効率的に計画的な改築工事を実施する。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	8	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)